



蓬田村公民館報
 (蓬 門) 第87号
 発行所
 青森県東津軽郡
 蓬田村公民館
 印刷所
 新印刷興業

裏切られた水稲収穫

我が村の今年産米の収量は何人も予想を裏切られた筈が出た。その原因は様々に取沙汰されておるが今だその正解が発表されていない。

自然を相手の農民の心理にゆさぶりがけた年に終った。

植付後は天候が不順だったが、幼穂結成期から出穂、登熟期は順調な天実に恵れた点からして昨年に優る実収を得ると考いたことはあたりまゝであった。

収穫期に入り各研究会が坪刈の答でがっかりした。

それでも実収まで予想の期待を夢み、一るの望を託してきたが、ふたを開けてみたら坪刈数字がそのまま正解となつて再度がっかり。気象条件に左右される農業のむづかしさを泌々味合された。

調製に当つても減収、品質低下と現れた。

上位等級米はわずか5%にとどまつた。

割当限度数量七一、九〇〇俵を大きく下廻り目玉として下位等級米、全くのダブルパンチをまともに喰つたことになる。

更におまけがつき資材機具の価上

〈世帯と人口〉

世帯数 983
 人口 { 男 2,347
 女 2,426
 計 4,773
 (48.10.31現在)

「蓬門」原稿募集
 「蓬門」の原稿を募集いたします。どんな事でもよいです。原稿を送って下さい。
 原稿送付先
 蓬田村教育委員会

り、四十八年は三重苦を背負つたことになる。

それかとして誰に苦情を申し開く場もなく、来る四十九年度に望みを託する外あるまい。

今年の反省と技術向上により四十九年度は挽回する望みを失つてはならない。

部落別売渡表(十一月二十日現在)

農協調べ

部落名	売渡限度量	三等	四等	五等	計
中 沢	四〇四二一、九二二				七七一、四〇二
長 科	六九八二二、四九五				三九八、五九一
阿弥陀川	二二二、二二二	九九五	九、三八三	一九九二〇、五七七	
蓬 田	〇九四	四四五二〇、六九七		四二二二一、五六三	
野 沢	五、四七六	一四一	四、二四六	七九	四、四六六
瀬 地	五、八一八	二四六	五、二三四	七二	五、五五二
広 瀬	四、三四一	二三一	三、五一三	四二	三、七八六
高 根	五、六二二	二三五	四、八六六	六	五、一〇七
計	九一、九〇〇三、三九五六二、三五五一、二九四六七、〇四四	五%	九三%	二%	

「北海道」

公民館長 坂本豊造

第二十二回全国公民館大会が北海道北見市で九月二十日、二十一日、三日間開かれ参加する機会を得た。報告の機会を失い遅れたことを冒頭詫げる。

二十一回熊本大会は全体会議において同和教育について近畿、中部、中国プロットから烈しいつき上げにより会場は混乱し、執行部は苦るしきまぎれに二十回北見大会にすべてを託して善切れとなった一幕もあり今年大会は一層の盛り上りを期待しながら北上した。

分科会は第三部会「事業」農山漁村部会に入り生涯学習の観点に立つた公民館事業の計画および実践上の諸問題とその対策について討議された。

様々な角度から論戦が展開されたが結論として、公民館は地域住民の茶の間である限り、一応の設備が最大の条件となる。住民が茶の間の如く軽い気持ちで参集し、いこいの場ではなくてはならない。従って対応する施設・設備が要求されるわけ何人も否定するものではないが、それに伴う財政措置に問題があるのでなんとしても行政側の理解と協力が必要になる。

住民の意識を高め、行政との懇談会等を開き、必要の認識を深めひいては住民運動による村造りから発足するのは最善の近道であるとの結論に到達して終った。

第二日目は全体会議の後、生涯教育と題して隣の秋田県知事小畑氏の記念講演があった。政治家としての

教育論は異様に感じたが、行政面からの生涯教育の実践活動を通して実に感銘するものがあった。

秋田では毎年二百名の青年達を船をチャーターしてソ連に送り、十五班に分けそれらの地区に派遣し船中各地区の状況及視察の内容を等発表、とりまとめて広報や各集会に報告し全県下の実践活動の資料としておる。

更に知事が陣頭に立って生涯教育の場の育成に力を入れておるので秋田の社会教育が根を下ろしているのだと感じた。

北見公民館は存分な敷地をとり、緑の中に建てており、思い切った広場は北海道らしい風致を備えておる。

昼食はその広場の一角に焼きトウキミ、ジャガイモ、カボチャのコーナが設置され、焼きトウキミの香が漂い、初秋の北海道の風情に接し満喫することが出来た。特にジャガイモバターを多分に添え久方振りた北海道の味を味合にここ出来、快適な気分で駅を引き上げたはよいが丁度国労・動労の闘争に逢い長、短どの列車も軒なみ運休、北見からの退

出の途がなく閉口した。一日泊つても明日運転の保証がなく、北見駅にて三人のグループが出来、ハイヤーを飛ばすことにした。目的は旭川、旭川まで出たならんとかなるだろーと一々の望みを託して飛ばした。

十石峠をながめ、層雲峡の秘映をみて旭川に着く、旭川も同じ更に札幌まで飛ばすことにした。鉄路で三二一K、陸路であるのでそれ以上であることは明確である。乗りかえもあつたが料金も大きく少々熱くなつた。始めて長きよりを料金を払つて乗つてみた。

自家用で北海道海岸線一周したことがあるがそのときはガソリンを入れるだけで済むが今回は戻った。札幌から間がよく函館までの特急が運転され、函館まで出れば青森へ来たようなものだ。

乗った車は北見でキャンセルした車で驚いたことに寝台を申し込んだ

健康といふことばについて

赤平人 参

よく「あなたは健康ですか」と聞かれることがある。そう聞かれるたび私は一瞬ドキッとして相手の顔を見つめてしまう。そして「ニヤニヤ愛想笑いをして「健康です」とも「健康ではない」とも言わず話をうやむやのうちに終わらせてしまふのが常である。

種をあかすと、実は「健康」とはどういう状態をさして言うのか私は知らない状態である。健康といふことばの定義例をいくつか知っているが「これがそうだが」というには会っていないし、自分で定義をつくれる程の人間でもない。前記のような質問をする方には「健康」というのは、どういう状態をさして言うのですか」と逆にこちらから質問したいくらいであり、そういう衝動にかられて来る。

「健康」とは、身体的・精神的・社会的にみて完全に健全な姿 (Well Being) を保っている状態をいう。したがって、ただ病気でない虚弱ではないといっただけでは不十分である。

よく考えてみると、この定義に示されたような状態にある人はいるのか

なあと疑いたくなる。何しろ完全に健全な姿を保っていないければいけないのであるから。もし、そうでなければ健康でないとするならば私なんぞはまづ先に健康という名の頂きから蹴落されるであろう。そして、おそれなくこの世の中に健康な人は一人もいなくなり、見る人見る人健康な人ばかりであり「あなたは健康ですか」などという質問も出なくなるであろう。そして、おそらくこの定義は本来そうあるべきだということなのであろう。

次のは一般的なものである。「健康」とは病気でない事である」という大変に割り切ったわかりやすそうなしかも豪快な考え方である。しかしそうであるとするれば健康とは単に病気の裏側、病気でないというだけの事であつて積極的にとらえられた人間の理想像に与えられたものではない(白と黒の石がたくさんあつてそれを白と黒に別々に寄り分ける時の「白い石」というのはこの石だぞ「黒い石」というのはこっちの石だぞというだけの事みたいだ)。事よいうであり、またたどりつく目標もなくなくなり、全く本心に「ただ病気でない」だけの事になりはしないかと思う。

次に、特に肉体労働者の間にある考え方、「働けるうちは健康である」とするもの。これは前記の「健康」というのは病気でない事」と似ている。この考え方だと、調子が悪くって、熱があつて青い顔をしていて医者に「あなたは寝ていて下さい」なんて言われても働いていさえすれば大丈夫(言いかえれば健康)という事になる。実際に、わが蓬田村にもこの考え方がかなり普及して

いて、うんうんうなつて青い顔を

して働いていて、病院に行った時には、具合が悪くてどうしようもない、という方がかなりあるようだ。この考え方は全く自分という存在をバカにした考え方だ。

まだまだほかに色々な考え方があり、それがさまざまに解釈されているのだし、一人一人少しずつ違った考え方を持っているのだ。そして、使っていないが一般的な定義を知らない人も大分いるのだし、どんな事をいうのか考えて見た事がない人もかなりありそうである。

もし、これを読んでいる中学生、高校生の方がありましたら保健体育の先生に「先生、健康ってのはどういう状態をいうのですか」と質問してごらん下さい。即座に納得のいくように説明してくれる先生は少ないであろうし、返答に窮する先生も数の中にはあるであろう。

とにかく「健康」ということばは、ひんぱんに使われているが勝手に解釈されたり、言っている人と聞いている人の考えている意味が違っていたり(ひどい時には、おたがい自分の考え方を説明せずに使えば、方とも適当に分ったようなしたり顔をしていてその実全然話が通じていなかったりもする)として、ことばという本来の拍子に意志を伝えるための記号の用をなしていないような所あり、ふしぎなことばである。



“年金時代来たる”

国民年金制度の改正法案が国会で成立し、素晴らしい制度に改善されました。年金・給付額の大引上げ、物価スライド制の導入、五年生金の再加入、福祉年金の支給制限緩和、二級障害福祉年金の支給割合特別給付金の新設など、盛りたくさんな国民年金の改善内容についてお知らせします。

○拠出年金

○福祉年金

給付の大幅引上げにより、保険料も改定
定額保険料(49年1月から)
月額 九〇〇円
附加保険料(49年1月から)
月額 四〇〇円
附加保険料とは現在の所得比例のことです。

所得制限の緩和
扶養義務者の所得制限は従前の二百五十万円から年収六百万円(六人世帯)に、本人所得については収入額六十七万円(単身世帯)に引き上げられました。
○新たに老令特別給付金
谷間老人月額四千円
国民年金の掛け金を納付した老令年金が受けられないし、しかも満七十年になるまで老令福祉年金も受けることのできない、いわゆる谷間老人に老令特別給付金が四十九年一月

受けられる年金等の額

種 類		昭和48年12月まで	昭和49年1月から	実 施
拠出年金	老齢年金	25年納付 月 8,000円 10年年金 月 5,000円 5年年金 月 2,500円	月 20,000円 月 12,500円 月 8,000円	49年1月から
	附加年金	夫婦25年納付の例 夫定額分 8,000円 妻定額分 8,000円 夫所得比例分 4,500円 夫婦で 20,000円	夫婦25年納付の場合 夫定額分 20,000円 妻定額分 20,000円 夫附加年金 10,000円 夫婦で 50,000円	49年から 49年1月
	障害年金	月1級=最低 11,000円 月2級=最低 8,800円	月 25,000円 月 20,000円	49年1月から
	遺族が受ける年金	母子年金 月 8,400円 子が2人以上のときは第2子から1人400円加算	月 20,000円 子が2人以上のときは第2子が800円、第3子から400円加算	
	遺児年金	月 8,400円 子が2人以上のときは第2子から1人につき400円加算	月 20,000円 子が2人以上のときは第2子が800円、第3子から400円加算	
か夫婦年金	老齢年金の半額	老齢年金の半額		
死亡一時金	10,000円~52,000円	17,000円~52,000円		
福祉年金	老齢福祉年金	月 3,300円	月 5,000円	48年(加算額は四九)
	障害福祉年金	月 5,000円	月 7,500円	10月(加算額は四九)
	母子福祉年金	月 4,300円 (子が2人以上いるとき第2子から1人400円加算)	月 6,500円 (子が2人以上いるとき第2子が800円、第3子から400円加算)	
	準母子福祉年金			
	本人所得制限 扶養義務者所得制限 6人世帯 公的年金支給制限 戦争公務 一般の年金	年 38万円 年 250万円 中尉まで全額支給	年 43万円 年 60万円 大尉まで全額支給	48年5月 48年10月 48年10月 49年1月
	老齢特別給付金	年 6万円	年 10万円	
			月 4,000円	

消防本部

からのお知らせ

地震が発生したとき二次的災害として恐ろしいものは、火災である。この火災の原因で多いものは液体燃料を使用する移動式のストーブです。それはあわてて火を消さないで逃げるため振動により転倒して発生しています。
十勝沖地震の際は、季節的に使用している数が少なかったため幸い大きな被害はありませんでしたが、これが多く使用されている季節に発生したなら大きな被害をこうむること

蓬田婦人学級

移動学習

が予測されます。また日常あやまっても転倒させて火災が発生している例もありこれらの災害を未然に防止するため、このたび移動式の石油ストーブの構造について火災予防条例が改正され、昭和四十九年二月一日から自動消火耐震装置のついたストーブでなければ使用できなくなりまして、今後この装置のついたものを使用し使用して下さい。

ただし、昭和四十九年二月一日において現に使用しているストーブでの設置のついていないものは、昭和五十三年二月一日までの間使用できますが早い機会に装置のついたものと取替えるようにして下さい。

去る十一月二十日蓬田婦人学級生四〇名青森県郷土館に移動学習した。

午前中郷土館見学、古代文化、先人たちの生活様式をつぶさに見て過去と現在を総合し明日への生活を考えた。

午後は当館小ホールにおいて東奥日報政経部長後緑也氏の当面の物価問題に対処と題し講演がなされ三時現地散会してそれへ帰路についた。

東北地区農業振興

現地研究会に出席して

農業委員会々長

山 館

清

現下の農業情勢に対処する諸問題について研究討議を重ね、地域農業振興と農業経営の発展を期する事を最大の目的として東北各県の農業を最大の主催をする当番制のこの会議は、九月六・七日の両日山と湖と温泉の町秋田県田沢湖町(町民体育館)に各県の代表者六五〇名(青森県百名)を集め開催された。

地元農業会議会長の挨拶に続き来賓の祝辞、指導助言者等の紹介がなされたあと、本題の各県一課題の事例発表に入り、五番目青森県からは中里町農委会長が代表として、「農家と一体になった相談活動」と銘打ち、農業委員が主体となり、現況下の農家のかかえている諸問題をできるだけ解決していくという基本的認識にたち、関連事業と併行し農政

農地はもとより農業に関連した様々な問題に取組みその改善を図っていくとするものである。その一問題として、後継者養成対策があげられ町教育委員会、産業課、農業委員会と三者の機能を發揮させ後継者を養成することに、一応の成果をあげているようです。他に米生産調整による出稼者の増加、農家の花嫁対策等に関する問題についても農家と一体となり相談、解決、又相談活動を通して町行政に反映させているという、意義のある事例発表でいたした。

特に今大会のテーマは、「土地と農業を守る運動」を掲げていたためか、冒頭から各県代表者の質問は土地買占め、乱開発による地価の高騰等について矢張り早の質問がなされ、当面の対応策として農業者に対する趣旨の徹底を強化すると共に、土地指導要綱を法律的に位置づける

私の提案

玉松園と海水浴場を結ぶ

歩道橋を創造したら

中 川 富 太 郎

れ、当面の対応策として農業者に対する趣旨の徹底を強化すると共に、土地指導要綱を法律的に位置づける

ことを政府に要望することを決議し第一日目の日程を終了した。次回は現地研究会について。

私のアイデア作戦の一途です。恐縮ですが蓬門を拜借して村民の皆さんと一語に真剣に取組んで見たいと思います。現実世を上げて観光とレジャーブームの世相、年毎に観光に熱を入れ魅力も一段と濃くなりまして。我が玉松園を知らない人がない位。蓬田村のレジャーの花名所となりつゝあります。一度来たら忘れ得ぬ思い出となつて来年もと心に誓つて帰宅する人ばかりです。一昨年から昨年、昨年から今年益々観光客が訪れて来ました。玉松海水浴場はシーズンの季節は特に集中的です。人々の波吹雪で一杯今や我が海水浴場も県下でベスト10に入りレジャー地帯と表現しても過言ではないでしょう海水浴してから玉松園の高台の芝生でゆっくり休息するのも一沙特別な感觸が湧いて来ます。そこで必要なのは歩道橋ではないでしょうか。体験した人でないと一寸想像も付かないと思います。優先的に感じるのが国道二八〇号線の車の危険性です。四〇Kに制限されても測定内限り直線ですから、運転者がここことばかりスピードをアップし八〇K一〇〇Kと追い越しのチャンスを狙っています。そこで海水浴場から玉松園まで行く気になれば必ず横断しなければなりません。一寸でも油断すると大きな交通事故になります。小さな事故が数知らない程発生しています。年毎に車の数も増し、水浴者もふえるのが火を見るより確実です。死者が出ないのが何より不幸中の幸です。死者が出てからは遅すぎます。又もう一つ魔の危険が待ちうづいています。海水浴した後は疲労がつきものです。そこで歩くのをやめて登坂なので車で行く事になります。津軽線の踏切りがあります。この踏切りこそ正に魔のさゝやきです。今年に入ってから一回位列車が止まった事があります。津軽線も二八〇号線に合似て直線コースで見通しがきくから止める事が可能な訳です。若しも急カーブだったら一大惨事が発生しないとも限りません。万一歩道橋があつたら事故の懸念がないと信じています。若しも事故が発生し死者でも出たらどんなに人氣ある海水浴場でも指摘されるか解りません。夢の歩道橋が完成した暁を想像して見ませんか。蓬田村のNo.1の名所となり世間にPRしなくても人々から人に連絡され観光客は一層増すのではないのでしょうか。そして一躍人氣の的となるでしょう。そして環境を整備したら美化運動にもなります。歩

道橋から遠望する陸奥湾の素晴らしい景色が美しく見られます。そして二八〇号線を走る車、線路上を走る気動車が真下に見られます。想像しただけで別な国にいった様な錯覚がします。私一人ばかりじゃないと思います。こんな考案を持つている人は他にも何人かいるはず、勿論工費は相当かゝると思いますが、人命は何より貴重です。現在使用中の離岸堤も何千万かゝるが真相は知りませんが、離岸堤も一つの観光客を引き付ける名案だと思います。東風(ヤマセ)吹いても水浴は可能ですから素晴らしい存在です。それに近くの漁民達も相当助かると思います。正に一村二鳥とも言えるのです。どうか村民の皆さんと一語に実現させれば力があります。勿論、議員さん協議して実現させて欲しいのです。万一実行に踏み切った場合小さなアイデアが幾つかあります。第一に子供の転落事故がない様な設計第二に駐車場にも階段を創造したら第三に海水浴場には歩道橋と連結させ子供でも大人でも可能なスベリ台それでも造つたら素晴らしいと思います。一日も早く私の考案を生かして人々のレジャーの幸福の為に積極が望まれます。

